

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2023.04.No308

4月号

目次

令和5年定時総会報告	1
一級・二級建築士試験合格者の声	4
西から東から「ひだかのまち」	5
道士会の動き	6
Coffee Break	7
information	8

URL <https://www.h-ab.com/>

令和5年定時総会報告

令和4年事業報告及び 収支決算承認される

「令和5年定時総会」は、4年ぶりに対面で開催された。

日時：令和5年3月23日(木) 15時00分～17時00分

会場：ホテル札幌ガーデンパレス 2階「丹頂」

出席者：代議員41名中30名出席



提案事項（定時総会の目的である事項）

【議案第1号】

令和4年 一般会計事業報告及び収支決算（案）

【議案第2号】

令和4年 特別会計事業報告及び収支決算（案）
（監査報告）

議案第1号～2号の主だった内容は以下のとおり

【議案第1号】

◆令和4年 一般会計事業報告

『委員会所管事項』

◎ 総務・企画委員会

- ・関係機関との意見交換会等の実施
北海道公共建築設計懇談会への対応
全道確認円滑化対策連絡協議会への対応
令和3年度全道住宅建築物耐震改修促進会議(書面)
ほっかいどう住宅フェア実行委員会への対応
- ・建築関係団体との連携
北海道建築設計会議への対応
- ・専攻建築士制度等に関する事項
申請 16名 領域 18領域
専攻建築士審査評議会 (web) 令和4年3月7日
- ・建築士会継続能力開発 (CPD) 制度の促進
CPD参加登録者 1,047名
CPDプログラム審査評議会 令和4年7月22日
及び同部会の開催 (12回)
- ・全道大会 (空知大会)
令和4年9月2日(金)・9月3日(土) 268名
- ・全国大会「あきた大会」
令和4年10月14日(金) 88名
- ・表彰の実施
北海道会長表彰者 22名 連合会会長表彰者 5名
- ・赤レンガ建築賞への共催等

◎ 事業委員会

- ・「既存住宅状況調査技術者講習」
対面講習
新規 札幌会場 受講者 10名
更新 札幌会場 受講者 4名

オンライン学習

新規 札幌会場 受講者 18名

更新 札幌会場 受講者 24名

- ・「発注者・設計者・監理者・施工者のための建築技術者が知っておきたい施工の心得」講習会
札幌会場 受講者 11名

◎ 情報委員会

- ・会誌「北海道建築士」(293号～304号発行)
- ・ホームページの運用
- ・全道大会 (空知大会)「北海道建築士 号外」発行

◎ まちづくり委員会

- ・全国まちづくり会議及びまちづくり委員長会議
開催日 令和4年2月19日(土)オンライン開催
参集規模 各士会まちづくり委員長他 70名程度
- ・地域におけるまちづくり活動の推進と支援
- ・まちづくりフォーラム
開催日 令和4年10月22日(土)
開催場所 石狩市 本町地区 (まちあるき)、
花川北コミュニティセンター (フォーラム)
参集規模 全道会員、市民 33名
- ・既往活動のフォローアップ
まちづくりフォーラム・オンラインのフォローアップ
開催日 令和4年8月20日(土)
開催場所 当麻町
参集規模 オンライン参加者等 13名
- ・全道大会 (空知大会) 分科会への取り組み
開催日 令和4年9月3日(土)
開催場所 三笠市民会館 三笠高校生レストラン
参集規模 全道会員 60名

◎ 被災地応急支援委員会

- ・応急危険度判定ネットワークの構築
- ・応急危険度判定の普及及び訓練への参加
- ・応急危険度判定講習会の講師登録制度の運用
- ・応急危険度判定地区協議会への協力
- ・ほっかいどう住宅フェアへの参加

◎ **青年委員会**

- ・全道青年委員会連絡会議
開催日 令和4年3月26日(土)
参加規模 オンライン参加者等 43名
- ・青年建築士の集い
開催日 令和4年5月28日(土)
開催場所 室蘭市
参加規模 参加者 52名
- ・ブロック協議会活動の展開
- ・全道大会青年サミット及びC分科会の運営
《青年サミット》
開催日 令和4年9月2日(金)
開催場所 滝川市
参加規模 全道各支部約80名
- 《C分科会》
開催日 令和4年9月3日(土)
開催場所 美唄市
参加規模 全道各支部約60名
- ・日本建築士会連合会青年委員会への委員派遣等
- ・社会貢献及び建築士会周知に関する活動
開催日 令和4年6月25日(土)
開催場所 小樽市
参加規模 一般市民130名程度

◎ **女性委員会**

- ・ブロック活動の活性化と地域会員の増強を図る
- ・勉強会・見学会を含めた活動を支援
- ・全道の女性会員とのネットワーク作りの為の活動
- ・広報誌の編集
- ・会員向けにweb配信を実施
- ・他団体との交流をすることにより、建築士としての資質の向上
- ・全道大会（空知大会）A分科会の企画・運営
開催日 令和4年9月3日(土)
開催場所 栗山町、雨煙別小学校コカ・コーラ環境ハウス
参加規模 45名
- ・日本建築士会連合会会議へ派遣 12回
- ・全国女性委員長会議
開催日 令和4年7月17日(日)
開催場所 東京都
- ・全国女性建築士連絡協議会
開催日 令和4年7月17日(日)・18日(月)
開催場所 東京都
- ・全国大会へ参加
開催日 令和4年10月14日(金)
開催場所 秋田県

「魅力ある和の空間ガイドブック（WEB最終版）」制作

- ・社会貢献に関する事業

◎ **会員増強特別委員会**

- ・建築士会の会員増強と組織の強化

◎ **ヘリテージマネージャー特別委員会**

- ・文化庁補助金採択決定「令和4年度地域文化財総合活用推進事業（地域文化遺産・地域計画等）」
- ・2022年度第8期ヘリテージマネジメント専門職育成講座開催及び終了【計13回】（一部を除きハイブリッド）16名
- ・ヘリテージアドバイザー講習会開催（ハイブリッド）
開催日 令和4年7月16日(土) 参加者：22名
- ・2022年第1回フォローアップ講習会 in 北海道開拓の村
開催日 令和4年7月30日(土) 参加者：34名

- ・第1回普及啓発事業 in 網走「歴史的建造物の登録に関するフォーラム」開催（ハイブリッド）
開催日 令和4年8月27日(土)・8月28日(日)
参加者 1日目：21名、2日目：11名
 - ・2022年第2回フォローアップ講習会 in 函館 開催（ハイブリッド）
開催日 令和4年9月17日(土)・9月18日(日)
参加者 1日目：22名、2日目：18名
 - ・第2回普及啓発事業 in 稚内「歴史的建造物の登録に関するフォーラム」開催（ハイブリッド）
開催日 令和4年10月1日(土)・10月2日(日)
参加者 1日目：34名、2日目：24名
 - ・補講・登録更新講義（ハイブリッド）
開催日 令和4年10月8日(土) 参加者：7名
 - ・2022まちあるき 地域と建物のなりたち1「篠路の歴史と篠路駅周辺の建物群の現状」開催
開催日 令和4年10月29日(土) 参加者：13名
 - ・2022まちあるき 地域と建物のなりたち2「すすきの周辺の歴史と今後の変化を考える」開催
開催日 令和4年11月3日(木・祝) 参加者：30名
 - ・ヘリテージマネジメント専門職育成講座「登録式及び特別講演」開催
開催日 令和4年11月19日(土) 参加者：43名
 - ・歴史的建造物の調査の実施
令和4年10月20日、21日 紋別市に出向き現地調査、博物館・図書館にて資料調査、法務局登記調査を行う
 - ・『「文化財建造物保存修理技術スキルアップ講習会」事業』に関する準備・検討
- ◎ **BIM推進特別委員会**
- ・オンラインセミナー「doBIM」
第1回 R4年5月17日 「BIMによる住宅デザイン」
第2回 R4年6月21日 「アメリカ西海岸におけるRevit活用事例紹介」
第3回 R4年7月19日 「道内自治体におけるBIM推進の取組」
第1回 R4年12月13日 「高知県における自治体とのBIMの取り組み」
 - ・ハンズオンセミナー
R4年5月12.13日 Archicad
R4年6月9日 REVIT
R4年7月14.15日 VECTORWORKS
R4年8月25.26日 GLOBEの研究
 - ・委員会内BIM関連情報セミナーの開催

『事務局所管事項』

区分	受験者数	合格者(合格率)
二級	学科	835 249(29.8%)
	製図	352 174(49.3%)
木造	学科	4 0(0.0%)
	製図	2 0(0.0%)
一級	学科	915 135(14.8%)
	製図	262 82(31.3%)

- ・一級建築士登録等の業務
新規 62件 事項変更等 150件
- ・二級・木造建築士登録等の業務
新規 173件 事項変更等 173件
- ・応急危険度判定士認定関係
12月末有効認定者数 2,628名
応急危険度判定士認定講習会
1月～12月 13会場開催 受講者 362名
1月～2月 書面による在宅学習 受講者204名

- ・建築士定期講習
12会場開催 受講者 643名
- ・監理技術者講習
3会場開催 受講者 73名
- ・「建築基準法講習会」中止
「実務に役立つ法規解説」12月末販売

「議案第2号」

◆令和4年 特別会計事業報告

- ・北海道建築士会地域貢献活動センター事業報告
地域貢献活動基金事業助成申請 無し

貸借対照表

令和4年12月31日現在

一般社団法人 北海道建築士会

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	85,111,127	88,792,730	△ 3,681,603
未収金	4,916,113	3,064,669	1,851,444
貯蔵品	350,575	565,121	△ 214,546
立替金	538,880	507,484	31,396
前払費用	530,270	446,044	84,226
流動資産合計	91,446,965	93,376,048	△ 1,929,083
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	5,002,504	4,242,432	760,072
財政調整資金積立預金	50,746,049	48,866,325	1,879,724
特定資産合計	55,748,553	53,108,757	2,639,796
(3) その他固定資産			
保証金	0	121,000	△ 121,000
その他固定資産合計	0	121,000	△ 121,000
固定資産合計	55,748,553	53,229,757	2,518,796
資産合計	147,195,518	146,605,805	589,713
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	349,373	8,890	340,483
未払費用	279,216	429,831	△ 150,615
前受金	6,054,200	5,317,600	736,600
前受会費	21,694,000	23,547,000	△ 1,853,000
預り金	2,029,590	606,454	1,423,136
流動負債合計	30,406,379	29,909,775	496,604
2. 固定負債			
退職給付引当金	5,002,504	4,242,432	760,072
固定負債合計	5,002,504	4,242,432	760,072
負債合計	35,408,883	34,152,207	1,256,676
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
負担金	△ 1,500,000	△ 1,500,000	0
寄付金	0	50,000	△ 50,000
指定正味財産合計	0	50,000	△ 50,000
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	50,746,049	48,866,325	1,879,724
正味財産合計	111,786,635	112,453,598	△ 666,963
負債及び正味財産合計	147,195,518	146,605,805	589,713

収支計算書

令和4年1月1日から令和4年12月31日まで

一般社団法人 北海道建築士会

(単位:円)

科目	予算	決算	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
会費収益	71,782,000	70,362,000	△ 1,420,000
事業収益	21,024,770	17,703,024	△ 3,321,746
受託収益	21,610,100	17,391,647	△ 4,218,453
助成金収益	26,469,900	4,533,795	△ 21,936,105
退職給与引当金戻入	0	0	0
受取補助金等	0	0	0
雑収益	26,893,674	2,313,260	△ 24,580,414
経常収益計	167,780,444	112,303,726	△ 55,476,718
(2) 経常費用			
事業費	125,071,421	84,401,142	△ 40,670,279
講習会等費	2,347,900	348,531	△ 1,999,369
二級・木造建築士登録等業務費	1,217,000	1,216,510	△ 490
継続能力開発制度費	484,000	483,474	△ 526
専攻建築士制度費	151,000	107,190	△ 43,810
その他事業費	6,567,500	4,824,769	△ 1,742,731
広報・情報費	6,803,200	5,716,789	△ 1,086,411
大会関係諸費	3,393,000	2,871,250	△ 521,750
委員会活動費	14,077,000	7,535,374	△ 6,541,626
人件費	24,438,360	23,767,785	△ 670,575
受託事業費	6,979,000	4,832,962	△ 2,146,038
助成金	7,876,600	5,709,049	△ 2,167,551
雑費	22,662,890	20,873,877	△ 1,789,013
管理費	28,073,971	6,113,582	△ 21,960,389
人件費	69,601,400	27,769,475	△ 41,831,925
会議費	4,560,000	4,505,728	△ 54,272
旅費交通費	2,288,000	1,935,012	△ 352,988
旅費交通費	6,142,000	4,274,782	△ 1,867,218
雑費	2,099,000	2,087,266	△ 11,734
雑費	3,176,400	2,188,240	△ 988,160
雑費	22,000	21,057	△ 943
雑費	51,314,000	12,757,390	△ 38,556,610
事業活動支出計	194,672,821	112,170,617	△ 82,502,204
事業活動収支差額	△ 26,892,377	133,109	27,025,486
2. 投資活動収支の部			
(1) 投資活動収入	3,300,000	2,565,290	△ 734,710
特定資産取崩収	3,300,000	2,565,290	△ 734,710
(2) 投資活動支出	5,277,000	5,084,086	△ 192,914
特定資産取得支	5,277,000	5,084,086	△ 192,914
投資活動収支差額	△ 1,977,000	△ 2,518,796	△ 541,796
3. 財務活動収支の部			
(1) 財務活動収入	0	0	0
財務活動収入計	0	0	0
(2) 財務活動支出	0	0	0
他会計支出計	40,000	40,000	0
予備費支出	7,776,462	0	△ 7,776,462
当期一般正味財産増減額	△ 36,685,839	△ 2,425,687	34,260,152
前期繰越収支差額	36,685,839	63,466,273	26,780,434
次期繰越収支差額	0	61,040,586	61,040,586

監査の目

令和4年1月1日から12月31日までの収支及び財産の状況、理事の職務執行について、法令及び定款に従い適正に処理、運営されていることを確認しました。

何と言ってもうれしかったことは、新型コロナウイルス感染症の変異株は毒性が弱くまた、ワクチンの接種率が高いことと、社会経済活動の推進の観点から各種のイベントの再開が容認されるという状況になったことか

ら、3年ぶりに本会設立70周年の節目を記念する全道大会として「空知大会」が開催されたことではないでしょうか。このコロナ禍の中、全道から、268名がリアルに参加して、学び、交流することができた記念すべき大会になりました。

また、会員増強施策の成果として、準会員の新規入会者の増や令和3年に特別活動費の助成決定した「WEBアプリ パズルで住まいを考えよ

う！」が建築士会全国大会「あきた大会」の地域実践活動発表会で「優秀賞」と「連合会青年委員会賞」のダブル受賞を果たしました。この事業が全国の方々の高い評価をいただいたことであり、今後も各支部の活性化の一助として、特別活動費助成事業の応募に大いに期待しています。

伊藤 隆英・本間 恵美 談

一級建築士の合格までの軌跡

林 良介（苫小牧支部）



初めまして、北海道建築士会苫小牧支部所属の林良介と申します。私は、平成3年に現在の会社に入社し、平成9年に、少々苦勞をしましたが独学で2級建築士を合格し、そこまでは良かったのですが、それからが大変な苦難が待ち受けておりました。

まずは、30歳から独学で学科試験を受けては不合格の年を繰り返したし、試験が終わっては、大通りのピアガーデンに同僚と共に通う事を毎年の恒例行事とした感じで受験しておりました。

また、仕事が忙しいのを言い訳に41歳まで、たいして勉強もせずに日々時間を費やしておりました。

正直に言いますとそんなに資格を取得する意欲はそんなにありませんでした。

しかし、年齢を重ねるごとに役職が上がるにつれ、1級建築士を取得しなければならぬような雰囲気は漂い始め43歳にしてようやく試験のための学校に通い始めましたが、今までの生活をなかなか変えられることができずお酒に趣味のゴルフなどを止められずに学科を合格するのに4年もの歳月を要してしまいました。

学科に合格し1年目は、独学で勉強し製図試験を受けるも当然のごとく不合格となり、2年目の製図試験では、学校に通い、製図の描くスピードも上がり、ぎりぎりですが時間内に図面を描くことができ

自信もそれなりにありましたが、自己採点を行うにあたり再度、図面を描いていると建築基準法を満たしていないものが1ヶ所あったことに気づいてしまいました。1ヶ所だけなので何とか受かっていないかと淡い期待を抱いて待っておりましたが、クリスマス日に不合格通知が届き本当に残念な日を家族と過ごしたことを今でも忘れません。

3年目のカド番となる今年は、今まで以上に勉強に打ち込み試験本番でも順調に図面を描き終え、自己採点においても小さなミスはあったが、一発アウトは見受けられず自信がありました。12月26日の合格発表を迎えるまでは本当に落ち着かない日々を過ごしていました。

発表当日、私は車の運転中で結果を確認することができませんでしたが、嫁からのLINEで合格したとの連絡があり、大変喜んだと同時に安堵いたしました。

弊社の若い社員もこれから建築士合格に向けて勉強をしていかなければなりません。自分の経験を活かしてこれからは、人材の育成に尽力をあげ、建築士会の会員を増やせるよう努めていきたいと思っております。

この度、50歳になる年に大変な思いをしました。無事に合格する事ができ、また、今回の合格は、家族、同僚等色々な方々のサポートがあつてなした結果であり、皆さんには心から感謝をいたしております。

二級建築士合格の先に

有南 寛之（網走支部）



皆様初めまして。網走支部で土屋工業株式会社建築部所属の有南寛之と申します。この度は北海道建築士会より二級建築士合格者の声と言うことで依頼を頂きましたので、恐縮ではありますが寄稿させていただきます。

少し自分のお話をさせてもらいますと、幼少期の頃から何かを作ったりするのが大好きな子供だったので、建設中の建物だったり作業機械等をよく眺めていた記憶があったり、小学生の時に書いたタイムカプセルの開封をした時に、中身を空けると大工さんになる！と書いてあったりしましたので、自分としては建築士を目指すのは必然だったのかと思います。

ですが、二級建築士試験は僕にとっては難しく何度も不合格になり諦めようかな？と、モチベーションが保てなくなり弱気な考えをしていた時期もありましたが、会社や先輩達のバックアップに支えられてなんとか合格する事が出来ました。

余談ではありますが、自分で受験番号をドキドキしながら探し、合格した瞬間を噛み締めたかったのですが、その日は仕事が忙しく知人から電話で合格してるよ！と連絡が来た為、ドキドキ感を味わう事

が出来ずに合格した記憶があります。その後、建築士会に入会したり、建築士登録手続きを行ったりと、少しずつ合格した実感が湧いてきました。

現在は次のステップとしまして、一級建築士を目指して勉強中であり、更なる努力が必要である事を痛感しています！『資格は自分を助けるぞ』と、教えていただきバックアップして下さる会社や先輩方に少しでも貢献出来るように、二級建築士試験で培った地道な努力と根性、地力底上げを忘れずに、一級建築士取得に向けてモチベーションを維持し頑張りたいと思います！

私個人としましては二級建築士・施工管理者として責任のある業務に携われる事など充実した毎日を過ごしてはいますが、現在、建設業界を取り巻く環境は建設資材の高騰や若手の人材不足、人材の高齢化などにより建設業全体に厳しい状況が続いていて気がかりではあります。

施工性に便利な物、効率の良い物等が開発されてきてはいますが、それを扱う「人」が土台であり、経験や知識が必要となりますので、人材育成の観点からまだまだ自分を高めていけるように、また、建設業界に携わる一員として、微力ではございますがこれからも貢献していけるよう日々邁進していきますのでご指導の程宜しくお願い致します！

長文・私見が多くなりましたが、最後まで読んで頂きありがとうございます！



情報委員会 森 勝利 (日高支部)

～HIDAKA～

日高管内は、本道の中央南西部に位置し、北東は日高山脈、南は太平洋に面しています。西から、日高町、平取町、新冠町、新ひだか町、浦河町、様似町、えりも町の7町で構成され、人口は、63,372人(R2国調結果)となっています。

～サラブレッド王国～

令和2年に全国で生まれたサラブレッドは7,556頭で、約8割にあたる6,009頭が、ここ日高で生まれています。まさに今、馬産地、日高は、出産シーズン真っ只中で、道すがら広がる放牧地には、競走馬への道を歩み始めた仔馬と母馬が、旅立ちまでの短い期間をのんびりと過ごしている風景が広がります。

4月19日(水)には、11月9日(木)までの日程で、日高町の門別競馬場を舞台にホッカイドウ競馬が開幕します。まだまだ、肌寒い時期のスタートですが、熱いナイトレースを観戦しながら、名物のバケツジンギスカンに舌鼓というのも良いものです。



母馬と仔馬が佇む風景

～日本屈指の桜の名所～

もうすぐ春ですね～。花見に行くなら、新ひだか町にある「二十間道路桜並木」。直線7kmにわたって、2,000本を超える桜が咲き誇り、出迎えてくれます。さらに、浦河町まで足を延ばせば、約3km

の桜のトンネル「優駿さくらロード」も堪能できます。この時期しか見られない絶景ですが、ここ数年は、ゴールデンウィークが見ごろとなっていますので、お出かけの際は、各町HPを要チェック。



満開の二十間道路

～アイヌ文化伝承に向けて～

管内7町それぞれ特色あるまちづくりを行っていますが、地域共通の課題として取り組んでいるのが、アイヌ文化の保存・継承です。

令和元年9月6日に国が定めた「アイヌ施策の総合的かつ効果的な推進を図るための基本方針」に基づき、全7町がアイヌ施策推進地域計画を策定し、ハード・ソフト両面での事業を行っています。

現在、新ひだか町では、アイヌ文化の保存・伝承に向けた人材育成活動や人的交流イベントなどの拠点として、アイヌ文化拠点空間整備事業に着手しており、既存のアイヌ民族資料館及びシャクシャイン記念館の改修、生活館機能を持たせた多機能型交流施設の新設、史跡の整備などに取り組んでいます。

平取町では、平成31年4月にアイヌ工芸伝承館「ウレシパ」がオープンし、様々なアイヌ工芸体験プログラムが実施されていますし、令和4年9月には、新冠町でもアイヌ文化発信拠点「ポロシリ生活館」が開設するなど、新たな施設も誕生しており、これらの施設を周遊するのも建築士の余暇の過ごし方として、「あり」ではないでしょうか。



改修前のシャクシャイン記念館 (新ひだか町)

建築士会CPD制度参加のみなさまへ

北海道建築士会で発行できる「CPD実績証明書」の種類が増えました

各行政機関の入札、経営事項審査（経審）の加点対象など、CPD実績の活用が進んでいます。そこで、従来の実績証明書（個人発行）のほかに、複数人の単位が1枚にまとまった実績証明書（複数名発行）が新たに加わりました。

※提出する実績証明書の種類は、必ず提出先に確認ください。

※（公財）建築技術普及センター（建築CPD運営会議）が発行する実績証明書とは別のものです。

個人発行	個人の取得単位数、取得した個別プログラム名が記載
複数名発行	複数名の取得単位数のみが記載（単位が「0」の場合は記載されません）
金額(税別)	1通 会員 500円 会員外 1,000円

発行の手続き

北海道建築士会ホームページから各「交付申請書」をダウンロードできます。

窓口の場合：交付申請書持参いただき窓口にてお支払い

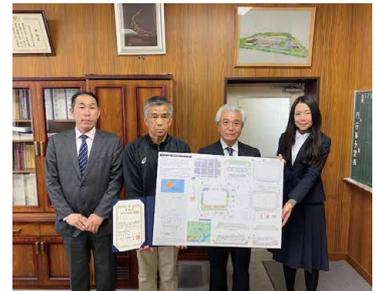
郵送の場合：現金書留にて交付申請書を同封しお支払い

FAXの場合：交付申請書をFAXし請求書にて本会ゆうちょ銀行口座にお支払い

詳細は、北海道建築士会ホームページをご覧ください。か、本部（011-251-6076）へお問い合わせください。

第13回高校生の「建築甲子園」 北海道苫小牧工業高等学校(定時制課程)奨励賞を受賞

日本建築士会連合会が主催する第13回高校生の「建築甲子園」にて、北海道予選を突破しました代表校「北海道苫小牧工業高等学校(定時制課程)」は、みごと奨励賞を受賞いたしました。2月7日に同校で行われました賞状授与式に佐藤副会長が、選手（生徒）へ賞状を手渡しこれからの活躍にエールを送りました。



令和5年（一社）北海道建築士会会員作品の募集

応募対象

- ①対象建物 令和元年以降に北海道内で竣工し、検査済証の交付を受けた建物で、その用途、規模等は問いません。ただし、確認申請を要しない建物は、検査済証は不要です。
- ②対象者 本会の正会員（応募建物の設計、及び施工管理者等、責任ある立場で建築に携わった者に限ります）
- ③応募作品 1人若しくは1グループで1点とします。

所有者等の了解

予め所有者、管理者等の了解を得てください。

応募締切

令和5年5月19日(金) 必着

応募資料

- ①申込書 所定の申込書を本会HPからダウンロードして記入してください。
- ②提出資料 図面（平面図・断面図・配置図等）及び完成写真（内・外装）等の画像データ3点と上記申込書を、CD-ROMに記録して提出してください。（応募作品は返却しません）

作品掲載

応募作品のすべては、本会ホームページに掲載します。また、その中から4点程度を選考し「北海道建築士No.313」に掲載します。※詳細は、北海道建築士会HPをご覧ください。

日高支部

令和6年全道大会に向けて

隅谷 耕太郎



日高支部の隅谷です。

1月21日に当支部の総会が開催され、山下支部長による冒頭のあいさつの中で、「令和6年度に全道大会を日高で開催する」と報告があり、大会開催に向けた準備委員会が立ち上がりました。さっそく2月2日に第1回準備委員会が開催され、私も委員会の一員として準備を進めています。

委員会では分科会から懇親会までどのような形式にするか、日高らしさを出すためにはどうしたらよいかなど各議題に対して多くのアイデアが出てきました。共通点としては「新しいことに挑戦する」ということです。分科会は従来の形式でなく参加者が一堂に会する「ワールドカフェ」スタイルのワークショップを開催する、懇

親会では支部間の交流を深めるために懇親会の席をくじ引きにするなどの新しいことへの挑戦に向けて進めています。これまでの全道大会とは違うやり方に挑戦し「参加してよかった」と思っていたいただける全道大会を目指して頑張っていきます。

全道大会を開催するとなればしっかり日高支部をPRしたいですが、全道大会で新しいことに挑戦するのに、「従来のPRではだめだ」ということで、YouTubeでのPRをすることとしました。

「北海道建築士会日高支部」と



第1回準備委員会の様子

いうチャンネル名で全道大会実行委員会の様子はもちろん日高管内の情報など建築士会関係に限らず、投稿していきます。現在2本動画をアップしておりますのでどうぞ、グットボタン・高評価・チャンネル登録よろしくお願ひします。



YouTubeチャンネル



YouTubeチャンネル QRコード

中標津支部

中標津支部

近況

事務局長

佐藤 主計



当地域では今年は雪も少なく、春の陽気にあてられコロナ明けの兆しが見えてきそうな雰囲気を感じておりますが皆様はいかがお過ごしでしょうか。これまでの皆様の支部便りと同様に中標津支部も、もれなく活動休止状態の2年でした。元々ビールパーティーなどの収入源もなく、財源変わらず、イベントなしという事で事務局としては予算の心配をしなくてよい事だけが良かった点でしょうか。昨年は全道、全国共に参加できましたが本部やブロック会の会議以外に参加事業がないのも寂しいものです。支部総会資料を作成していても支部事業は「コロナ禍により中止」の連発です。

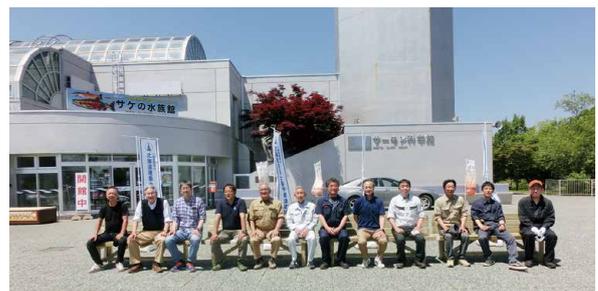
昨年は屋外事業に限り少し活動でき、建築士の日記念事業（標津町サーモンパークにおいてベンチ4台の製作と寄贈）と技能士会主催による技能祭への参加協力（木

工作ブース）、賛助会員向け事業（標津沖カレイ釣り大会）の3つの事業を実施できました。

今年1月の支部総会では久しぶりに懇親会付き支部総会を行えました。どの団体に招待状出していたんだろう、町長宛は返信はがきだったか、返信用封筒同封だったかなど、以前のフォルダーを探しながらの準備作業に、毎年この作業をしていたんだなと思いたしたところ。懇親会はこの再開を機にお座敷からイス席へ。支部会員51名の内、30代は残りわずか。ほとんどが50～70代で当然の流れですね。懇親会費も大皿配膳から個人食配膳への変更や物価高騰により3年前の1.5倍です。来年からは違うスタイルを模索していかなければ…。二次会までほとんどの方に参加いただき、皆様にもお楽しみいただけたようで良かったと思います。そうです！親睦

や、お酒がなければ良い建築はできないのです！これが、私が就職とほぼ同時に無理矢理、入会させられた本来の建築士会の姿！…ではないのかもしれませんが支部の内外、地域を問わず、人と人の交流が当会での一番の財産だと思う私としては、早く通常運営できることに期待します。

今後、中標津支部4町の内、3町が都市計画区域外という地域において、4号確認の廃止や省エネ法への対応などの情報発信、講習会の実施など、建築士会の役割も多分にあるはず。地域貢献活動や親睦事業を含め、今後共、皆様と楽しい活動ができればと思います。



建築士の日記念事業（標津町）

道士会の動き

道本部の主な会議報告（3月）

- ◆第1回総務・企画委員会（web併用）
〈開催日〉3日（金）
1）令和5年第1回理事会議案
2）その他
- ◆第1回四役会議
〈開催日〉9日（木）
1）令和5年第1回理事会議案
2）報告事項
- ◆第1回理事会
〈開催日〉14日（火）
1）令和4年一般会計収支予算の補正及び流用（案）
2）令和4年一般会計事業報告及び収支決算（案）
3）令和4年特別会計事業報告及び収支決算（案）
（監査報告）
4）第46回全道大会の開催（案）
5）（一社）北海道建築士会運営規則の改正（案）
6）（一社）北海道建築士会専攻建築士の登録更新審査に関する基準を定める規則（更新基準）の改正（案）
7）（一社）北海道建築士会有期契約職員等就業規則の改正（案）
8）（一社）北海道建築士会嘱託職員就業規則の改正（案）
9）（一社）北海道建築士会事務局職員就業規則の改正（案）
10）札幌市住宅エコリフォーム補助制度審査業務の入札に参加すること
11）定款第6条に基づく会員の入会承認（案）
- ◆令和5年全道青年委員会連絡会議
〈開催日〉18日（土）
1）令和4年事業報告、決算報告
2）令和5年事業計画、予算説明
3）連絡会議研修会
- ◆第1回被災地応急支援委員会
〈開催日〉25日（土）
1）令和5年事業計画
2）ネットワークの登録者増強と整備
3）各自自治体と支部の協定締結推進
4）新規事業
5）机上訓練講師研修
6）その他

講習会・セミナーのご案内（4月）

監理技術者講習

12日（水）札幌市

編集後記

今月は、令和5年定時総会報告が掲載されています。各委員会の事業報告を見ると、皆さんが多彩な活動をしている様子がわかります。興味深い活動も多く、私も多くの委員会の活動を見学だけでもしたい気持ちになります。また、3年ぶりに全道大会として「空知大会」が開催されたことも喜ばしいことでした。やっぱり、リアルが一番！建築士会の活動が対面で実施され、より活発化することを自分でも楽しみたいと思います。

情報委員会 今村 敏彦（札幌支部）

本部の主な行事予定（4月）

- ◆第2回青年委員会
〈開催日〉15日（土）
- ◆第2回女性委員会小委員会（web）
〈開催日〉18日（火）
- ◆第1回情報委員会
〈開催日〉22日（土）

CPD認定プログラム（3月認定）

プログラム認定はありませんでした。

“会員専用ページ”でオンデマンド配信中！



- 視聴方法：北海道建築士会HPの上記「会員専用ページ」をクリックしパスワードを入力
- 4月パスワード：Aba030

販売のご案内

令和5年1月～2月に開催の第54回建築基準法講習会で使用をした、「実務に役立つ建築法規解説2022」（2023年1月発刊）を販売しております。



実務に役立つ 建築法規解説2022

編集＝全道建築行政連絡会議

- ◎A5判
- ◎定価：3,900円（税込）

*在庫がなくなり次第販売終了 購入方法 下記のいずれかの方法でご購入下さい。

- 1）北海道建築士会本部にて現金で購入
- 2）北海道建築士会ホームページのオンラインショップまたはFAXにてお申込みにて購入（申込用紙は北海道建築士会ホームページよりダウンロードできます。）

*一般の書店では販売しておりません

情報委員会委員長／森 勝利
副委員長／前田 繁・立花智亜喜
委員／今村 敏彦・境谷 香奈・角張 隆昌
村山 賢司・徳留 裕敏

北海道建築士 No.308号

印刷 令和5年3月／発行 令和5年4月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
大五ビル
電話 (011) 251-6076番
URL <https://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎
〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目
電話 (011) 811-7151番